

「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する」 研究の参加について

○ 研究の意義・目的

がん医療の均てん化が唱えられていますが、がん診療実態が明確に把握されていない状況があります。そこで、院内がん登録とDPCデータのリンクデータを作成し、がん診療実態の把握や標準診療実施率(QI)を算定し、研究参加施設へフィードバックなどを行いがん診療の妥当性の検証・構築をおこないます。また、構築された院内がん登録とDPC(診断群分類の診療)データのリンクデータについてデータベースを構築し、さらにその有用な活用方法について検討することを目的としています。

○ 研究対象者

2018年1月1日から2027年3月31日までに、広島大学病院でがんであると新規診断された患者さん、またはがんで新規受診した患者さんで、広島大学病院にて治療を行った方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、院内がん登録データ(年齢・性別・初診日・病名・初回治療情報など)、診療明細情報(診療の実施年月日・診療行為の点数など)、行為明細情報(入退院日・診療行為の名称など)、簡易診療録情報(病名・治療情報・がんの場合の初発・再発情報など)を匿名・暗号化し、国立がん研究センターへデータを提供して研究されます。本学の役割はデータ提供のみとなります。

(個人が特定出来る情報は転記しません)

本研究は、国立がん研究センターを主施設とし、全国がん診療連携拠点病院からデータを収集して実施される研究です。

○ 試料・情報の管理責任者

国立がん研究センター がん対策情報センターがん臨床情報部長 東 尚弘

○ 研究期間 2013年8月2日 ~ 2027年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel: 082-257-1553

広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦(情報提供責任者)

病歴管理センター 妙田 秀未(担当者)